

～ Serving the Community and Supporting the YMCA since 1976 ～



# 埼玉ワイズメンズクラブ

## Saitama Y's Men's Club

月間テーマ： *YMCA Staff Support (ASF)*

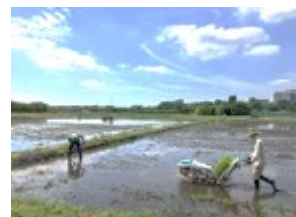
2024年  
10月



2024-25 年度クラブテーマ「市民と繋がろう・市民に知らせよう」

埼玉拡大例会・関東東部 部大会  
市民田んぼの半年

10月ブリテンです。9月に山中湖キャンプ場で開催されたユース・ボランティアリーダーズ・フォーラムの報告、「水資源功労賞」を受賞したの藤原悌子氏の紹介と、国連総会での世界 YMCA 同盟の働きを掲載します。詳しくは次頁参照。



[写真解説] 10月前半は所沢YMCAで所沢/川越/埼玉の3クラブ主催の講演会で太田聡主事が多世代にゲーム・スマホ依存症が増えている中でのYMCAの取り組みを紹介。関東東部の部大会はユースによるミュージカル。今の青少年が不安を乗り越えていく姿を感動的に上演。右は見沼の市民田んぼの半年。稲は実ったが…。70代80代もひと汗。Y'sはグループでも個人でも活動好きだ。



### 今月の聖句

「わたしはあなたがたに平安を残します。わたしの平安を与えます。わたしは、世が与えるのと同じようには与えません。あなたがたは心を騒がせてはなりません。ひるんではなりません。」

(ヨハネによる福音書 14:27)

### 11月「もみじ」例会

日時：11月16日(土) 14:00～16:00  
会場：市民活動サポートセンター(浦和駅パルコ9)  
プログラム：ジェンダー(その9)

### 11月 夜談会

日時：11月11日(月) 午後6時～8時  
会場：サイゼリア(浦和駅東口)

- ・ 気楽に知り合い、笑いながら見識を深めるさばけた市民の出会いと集いの場(覗いてください)



## ◆◆◆ エッセイズ ◆◆◆

### ◆ ユース ボランティア・リーダーズ フォーラム が目指す新たな方向

衣笠輝夫

第36回ユースボランティア・リーダーズフォーラム(YVLF)が、2024年9月6日～8日、東京YMCA山中湖センターで行われた。このYVLFは若いリーダーの育成を目的に例年ワイズメンズクラブ(Y's)が主催し、開催費用の大部分を各クラブからの支援金で賄っている。Y'sと都市YMCAの協働プログラムでもある。今年は23人の学生と4人の社会人ユースのカウンセラー(グループリーダー)が参加した。

歴史あるYVLFだが、特に今回は印象的なことが二つあった。これまでの目的・テーマとその内容が大きく変更されたことが第一点。「今ユースボランティア・リーダーに求められるもの」という長年のテーマが前回から「私たちにとって、みつかる・つながる・よくなっていく」に変わり、基調講演の内容もそれに合わせた。これまで活動経験が1年～2年のユースリーダーを対象に、スキル向上とYMCAキャンプ体験を目的としてきたものから、社会的課題に関心のあるユースリーダーを対象とするなど画期的な方針変更を遂げた。講演の内容は「不登校児童の課題と居場所づくり」を演題に、熊本YMCAの不登校児童への活動について伊藤眞太郎主事より紹介・説明があり、それを基にグループで活発な話し合いがなされ、多くの気づきを与えられた。来年のYVLFでは、さらに対象を社会的関心をもって活動しているYMCA外の若者をも巻き込む形で計画が進む予定だ。募集枠も40人以上に拡大できるように、個々のクラブからの支援金に加えてYVLFファンドによって資金を増やす考えだ。

第2点は、活動の最中に、ユース事業直前主任で本YVLF実行委員長の城田教寛氏が急逝されたこと。享年52。ショックだった。最終日のグリーンチャペルでの聖日礼拝で山田公平理事からきちんと報告があり、全員で祈りと黙とうをささげた。YVLFの様々な課題に積極的に取り組んでいた城田メンに感謝し、ご冥福をお祈り致します。◆



### ◆ 見沼田んぼの大局、藤原梯子姉

浅羽俊一郎

13年前、東日本大震災の直後、北浦和の焼き鳥屋で向かいの男性客が市民田んぼ活動をしている女性のことを教えてくれた。数日後浦和の「水のフォルム」事務所兼マンションを訪ねた。書齋で話を伺い「またそのうち」で退出するはずが、レクチャーが始まった。出版社の編集者が40代から川と流域を研究し、その流れで市民田んぼと「水とみどりのアカデミー」学習会をしていること、さらに流域や荒川のこと。体験入り講義は5時間に及んだ。藤原梯(とも)子さん(以下F姉)との出会いだ。

その後「アカデミー」に登録。一流講師陣の講義は難しかったがF姉の一貫したメッセージを感じた。さらに見沼の田んぼ活動にも参加した。地元農家から学んだ伝統農法で20年以上続けている稲作は四季を通じて仕事はヤマとある。折々聞かれるF姉の叱責は必ず説明が伴う。自然は手抜きを許さず、経験さえも時にあざ笑う。参加者一人ひとり得る教訓は異なる。F姉の仕事は田んぼの個別診断、農機具の管理、参加者ケア、農家や行政との信頼醸成、資金管理その他多岐にわたる。その上市民活動らしさを守る。そんなF姉と仲間が持ち寄る昼飯のひとは実に和やか。育児ママ、勤め人、年金暮らし、と色んな人が出会い、親しくなる。



稲藁でしめ縄を作ってみせる藤原姉

F姉の活動はまだある。近隣ダムの見学ツアーや川の上下流交流イベントに加え、新たに子供たちへ

の啓発活動「くるる調査隊 10 Eyes」の子供による現場取材と「私のまちに流れる水」作文コンクールが県の後援でスタート。ダムや河川事務所の担当官は子供たちの素朴な質問に答えるべく専門卒を超えて学び直している、と F 姉は喜ぶ。

この夏長年の努力が実った。令和 6 年「水資源功績者賞」を国交大臣から受賞！参加者皆喜びを共有した。「流域」の伝道活動をこれからも応援したい。

因みにワイズとの関係だが、過去に在京クラブで卓話をし、3 年前は埼玉クラブが講演会を開催したが、どちらも難解で、質疑すらあらず！❖

## 活動・会議メモ

### ◆ 深刻化している「ゲーム・スマホ 依存症」

表紙に写真を掲載したが 10 月 12 日に所沢 YMCA で所沢と川越の 2 クラブ共催でミニ講演会が開催された。講師は YMCA 職員の太田聡主事。ゲーム依存症に取り組む久里浜医療センター（横須賀市）と横浜 YMCA とのコラボに現場で関わった体験を交えて分かりやすくオンラインによるゲーム依存症が青少年の間で増えている、と話してくれた。かつてのファミコンと異なり、今のゲームは遠くにいる参加者同士がオンラインでつながり、上手いと認められる。でも上手くなるには課金がある。子供だけでなく親たちもゲームにはまると依存症の兆候を見落とすことになる。ゲーム好きの太田主事の体験に基づく訴える言葉には説得力があった。

埼玉クラブからは衣笠・上松・浅羽メンが出席。浅羽メンが遠方からも参加出来るようにとズームで講演会を写したところ一人入ってくれた。

### ◆ 「10 月夜談会」

10 月 14 日（月・祝）は浦和サイゼリアで夜談会開催。会長の方で「日本の外国籍の人たち」を話し合いのテーマに、と簡単な資料を用意。A 氏は関連図書を持参し、彼らの苦しみにほとんどの人の関心が向かない現状を紹介してくれた。そこから話は外国人に限らず人と人が理解し合う意味に発展。



別テーブルでは別の参加者が奥田知志のホームレス活動「抱撲」をアピール。最後は T 氏のアルバムで盛り上がった。閉会后、今月ノーベル平和賞を被団協が受賞したことを思い出し、長年折り鶴を広島に届け続けてきた堀和メンを労った。

出席者：大輪、衣笠、浅香、高岡、堀和（はが）、浅羽、麻生、上松、浅羽 恵（姓のみ・敬称略）

\* 夜談会は 4 年目に入った。ここらで今までの経過を振り返り、今後の方向性を語り合ってみたい。ボランティア活動・市民活動に関係している人々が意見交換し、情報やヒントを共有し励まし合える和やかな交流の場でありたい。❖

### ◆ 10 月 関東東部（KTT） 部大会

19 日にウェスタ川越の大ホールで開催された KTT 部大会には総勢 56 名が出席。山本部長の挨拶もほどほどに CreativeArts Tokyo という若手だけのシンガーとバンドによる 10 分ミュージカルを 3 本も楽しませてもらった。このグループは最近までニューヨークで学校を中心に青少年向けメッセージを盛り込んだミュージカルで知名度を上げということで、歌の端々に英語の歌詞が聴かれた。今後の活躍を祈りたい。（表紙写真参照）またこの日のために厚木ワイズの小松仲史メンがご尽力されたことを心から感謝したい。一つ気になったのが会館事務所が「演奏会は禁止」と言っているそうだが、市民活動を萎縮させることにならないか？

外では市内外から多くの人を巻き込んで川越祭りが大々的に繰り広げられていた。❖

## World YMCA News

### ◆ YMCA、国連総会にてユース動員を提言！

9 月ニューヨークで国連総会（UNGA）が開かれた。20 日から 27 日まで世界 YMCA 同盟代表は総会に出席し、様々な団体・パートナー団体と一緒に多くの会議やイベントに参加した。YMCA にとって共通のテーマ、特に若者に影響する問題に積極的に



取り組んだ。

特記事項としては未来アクション・デイのサミットに出席し、地球規模の問題に取り組むためのパートナーシップの強化に焦点を当てて「将来世代のための持続的な開発」への啓発の必要を主張した。カルロス・サンヴィー同盟総主事は EU（欧州連合）およびビッグ6の一員として上級円卓会議に出席し、世界各地から若者をもっと動員する必要があることを訴えた。

YMCA 代表団はユースリーダーを支援している連合体“Unlock the Future（未来を解放しよう）”が進める“Funders Collective（寄付者協同組合）”の基盤作りに貢献することができた。

### ◆ レバノン YMCA、避難民に救援を開始

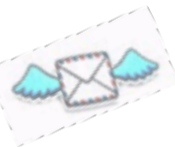
9月24日にイスラエルによるレバノン攻撃が始まって以来、同国 YMCA は南部から逃れてきた20万を超える国内避難民、中でも女性、子供、高齢者を対象に人道支援を続けている。今後のレバノン YMCA の取り組みを応援したい。

[注]

- \* 以上世界 YMCA 同盟通信 10月号より抜粋紹介。
- \* 世界 YMCA 同盟は1946年以来国連経済社会理事会の常任諮問メンバーとしての任にある。国際ワイズメンも今は同理事会の特別諮問メンバーになっており、2年毎に活動報告を国連に提出する義務がある。❖



## 仲間のお便り



### ◆ 浅羽俊一郎メン

#### DENNIS THE MENACE



古い英字新聞の切抜きが出てきました。一コマ漫画“Dennis the Menace”（日本では「わんぱくデニス」）です。ジェンダーに関係しているので紹介します。レストランの入り口でデニス坊やは案内の女性に言っています「ここに来たのは今晚パパがお料理する番

だからなの」30年以上前のものですが、アメリカでは夫婦で家事は分担するものという考えが幅を利かすようになって来て、それをユーモアにしたものでしょう。いまでは通じないジョークかも。両親の

気持ちが上手に顔に描かれていますね。

\* 出典 1993年7月1日付 Int'l Herald Tribune (当時)

### ◆ 水無瀬隆造メン

最近デイ・サービスで、参加しているある女性の言ったことに納得した。テレビが実につまらなくなかった。ドラマはまだいいが、報道番組が劣化した。殺人や強盗などのニュースが多く、おまけにコメンテーターが芸能人！改めて見直しているのがラジオです。午後の数時間FMラジオで音楽だけでなく、ゲスト達の面白い対談が聞けるんです。かつて山口百恵のご指名で宇崎竜童が作曲することになり、それが縁で宇崎・阿木耀子夫妻の作詞作曲コンビが誕生したと知りました。今FMラジオがお勧めです。

### ◆ 10月の俳句 塀和光二郎メン（俳号 愚道）

#### 校門の朝の挨拶木槿かな

校門の前で学校に来る子供たちに挨拶をしています。その校門近くの木槿（むくげ）の白い花と一緒に子供たちを迎えてくれます。



#### イチジクの去年の味が忘れじ

近所でいただいたイチジクのジャムがとても美味しくて密かに今年も狙っています。

#### 10月の豪雨も神のいたずらか

正月の大地震で散々傷つけられてまた豪雨に見舞われました。神様のいたずらとしか思えません。

### 今後の予定

- ・ 11月4日(祝)  
埼玉 YMCA チャリティラン@ 所沢市航空公園
- ・ 11月15日～17日日本 YMCA 大会@ 東山荘

統計	出席	会員	ゲスト/ビジター
夜談会 (10/14)	9	4	5
部大会 (10/19)	56	3 (例会に代えて)	

### ワイズメンズクラブ 紹介

ワイズメンズクラブ国際協会 (Y's Men International) は国際的青少年教育団体 YMCA を支える社会人のクラブの集まりであり、若者と地域への奉仕を目的とする団体です。政治信条・性別・肩書きや年齢差に関係なく国内外の交流を進めています。

埼玉クラブは浦和区を拠点に活動しています。ボランティア活動、国際協力、青少年育成に関心があり、責任感のある方は年齢・性別に関係なく募集しています。宗教団体・利益団体ではありません。

詳細は埼玉クラブ会長 浅羽まで。(090-7426-5553) または Y's Men International 東日本区の下記 URL をご参照ください。 <https://ys-east.or.jp/#gsc.tab=0>